

# 介護ロボット導入事例

製品名 見守り支援ベッドシステム

機種 内蔵型センサー付き電動ベッド カリストエール(KA-35223F)

## <概要>

立位不安定で転倒リスクが高いが、認知症等によりリスク認識が困難な入居者に使用し、離床の企図をベッドに内蔵されたセンサー及びセンサーと連動する PHS にて迅速に把握、対応する事で転倒事故を未然に防ぐ。

## カリスト エールシリーズ KA-35223F

より安全でより使いやすく進化した”低床”電動ベッド。多彩な機能で介護現場を応援します。



### 利用者の動作を検知する離床 CATCHⅢ搭載

- 背・膝の角度、ベッドの高さが個別に操作可能
- 液晶表示付き手元スイッチで確実な操作と確認が可能
- 低床 25cm から 63cm までの高さ調節が可能
- 丸みを持たせた優しい印象の木製ボード
- 直径 10cm 帯電防止キャスター(セントラルロック仕様)
- 最新の JIS T 9205:2009 に定められた寸法を満たした設計

### 「起き上がり」も検知できる 2 センサータイプ(離床 CATCHⅢ)

ベッド上の荷重変化を検知することができます。別売のナースコール中継ユニットを介して既設のナースコール設備と接続することで、「起き上がり」「端座位」「離床」の動作や「見守り(離床後の経過時間)」「離在床情報」を検知して通知することができます。荷重センサーはベッドに内蔵されており、ベッド周りに機器やコードを設置する必要がないので、つまづきなどのリスクがなく、普段と変わらない環境で利用できます。また、従来のマット式などと比較してより正確な検知判定が可能です。離床 CATCHⅢでは、ベッドにご利用者様が寝ていない状態でも通知設定が可能になり、一度通知した後でも、再度離床 CATCH(通知機能)を ON にし直す必要がないなど、さらに使いやすくなりました。離床 CATCH(通知機能)を ON にしている場合は、手元スイッチとナースコントロールパネルの電源ランプの色(橙)と液晶画面に表示します。